



仲間がほしい。
目標がほしい。
もっともっと、
スキルがほしい。



よりよい支援を続けていただくための3つのアプローチ

DV被害者支援「支援者エンパワメントプログラム」

東京YWCA

Tokyo YWCA's Herstory

女性の自立をもとめて100年以上の歴史をもつ。

日本にYWCAができたのは1905年10月のこと。世界YWCAから派遣されたカロリン・マクドナルドが日本YWCAの初代総幹事をつとめ、女性の自立と解放をめざして歩み始めました。翌11月には津田梅子を初代会長に、東京YWCAが誕生。1914年、無給の幹事として派遣されたエマ・カフマンが、その指導力と私財を投じ現在まで続く東京YWCAの礎を築きました。以来100年以上私たちはキリスト教を基盤とし、平和の実現を活動の1つの柱として、人の命を大事にし、環境を守るための活動にも取り組んでいます。



Tokyo YWCA's Philosophy

人権・健康・環境が守られる平和な世界を。

YWCA (Young Women's Christian Association) は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。1855年英国で始まり、今では日本を含む125あまりの国と地域で、約2500万人の女性たちが活動しています。



公益財団法人東京YWCA

平和と人権事業部女性と少女の人権課

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11
TEL : 03-3293-5421 (代表) FAX : 03-3293-5570
Email : office@tokyo.ywca.or.jp

www.tokyo.ywca.or.jp

東京YWCA

検索

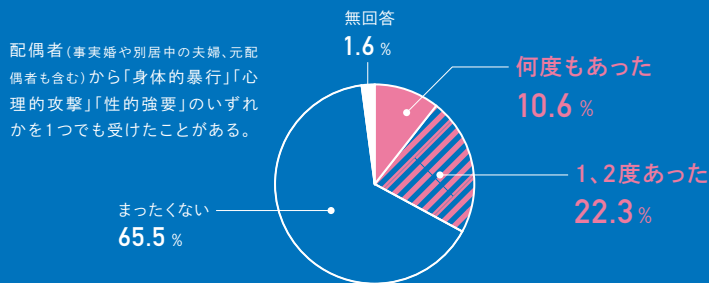
ご寄付のお願い

女性と社会の明日をかえる活動に、あなたのご支援をお寄せください。
東京YWCAのすべての事業は個人、団体、企業の皆さまからのご寄付と、
会費およびボランティアによって支えられています。

- 「支援者エンパワメントプログラム」のサポーター登録/年間3,000円
- ご寄付/東京YWCAへのご寄付及び賛助会費は、寄附金控除の対象となります。
- 東京YWCA会員登録/年会費:成人会費7,000円、賛助会費(個人もしくは企業、団体)一口10,000円以上

日本の女性配偶者の約3人に1人はDV被害の経験者です。

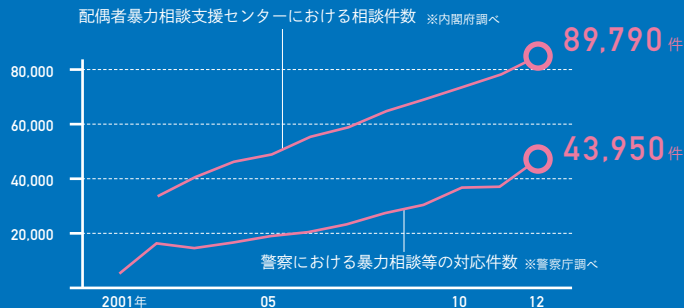
DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、夫婦や恋人など親密な関係にあるパートナーに対してふるわれるパターン化した暴力的行動のこと。その被害者の多くは女性です。日本では、事実婚や別居を含む女性配偶者のうち約3人に1人が「パートナーから身体的、精神的、性的な暴力を受けたことがある」と答えています。



※内閣府「男女間における暴力に関する調査」(2011年度調査)より作成

相談件数は増えつづけ、求められる支援も多様化へ。

2001年に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」が施行されてからDV被害に対する世の中の意識が高まり、相談件数は年々増え続けています。DV被害者に対しては「相談」から「保護」そして「自立」まで、綿密な連携やきめ細かい対応がますます求められ支援も多様化しています。



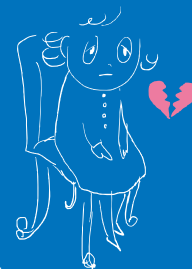
私たちには、聞こえます。
支援者の皆さんの「SOS!」の声が。

そんなDV被害者支援は、いのちに関わる大切な仕事。しかし支援者自身もまた限られた資源や人員の中で支援活動に疲弊し、悩んでいるのが現状です。



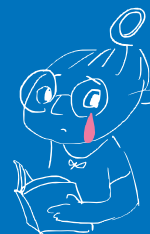
心の負担が大きい!

「仕事の厳しさが周囲に理解されず孤独です」
「支援について相談できる人がいなくて悩みやストレスを抱え込んでしまう」
「相談内容の深刻さから、リフレッシュがむずかしい」



モチベーションが保てない!

「支援の成果がみえにくく、無力感をもってしまう」
「ガイドラインがないため、自分の判断に自信がもてない」



知識やスキルが足りない!

「自分が被害者に二次加害を与えてしまわないか、不安だ」
「初めてのケースにどのように対処したらいいのかわからない」
「業務に追われて外部の研修に参加する時間がない」

よりよい支援を、より多くの被害女性へ。

東京YWCAは3つのアプローチでDV被害者の支援者をエンパワーします。

仲間たちと「つながる」 connect

支援者同士、悩みや知見の共有を。

DV被害者支援に携わる人々が集い、時間と情報を分かち合う「場」をご提供。支援者自身がご自分を大切に、また仲間同士で支え合い学び合うことで様々な「気づき」を得られるよう、安全かつ安心できる場づくりを行っています。

支援者サロン

からだやこころのリラクゼーションなど、毎回テーマを決めて開催。一週間のお仕事を終えた後のひと時、気軽に参加できる週末夜の集いです。

- 開催/毎月2回
第1、第2金曜日18:30-20:30
- 参加費/1回500円



ピア・スーパービジョン

悩んでいること困っていることを、仲間同士で知恵を出し合い解決していく「Solution Focused Reflecting Team (SFRT)」の手法で進行しています。

- 開催/隔月
- 参加費/1回500円



※いずれも次回内容などの詳細は事前に東京YWCAのHPでお知らせしています。

「ひとりのちから」が、明日をかえる。

どうぞ想像してください。1人の支援者がエンパワーされたら、そのちからはきっと、まわりの支援仲間にも広がります。そして支援を待つ多くの女性たちへと届きます。女性たちに子どもがいれば、彼らの未来もかえていきます。もしあなたに4人の仲間がいて、あなたを含めた5人がそれぞれ20人の女性たちを支援しているなら、あなたのちからが100人の女性の明日を変えることも決して夢ではないのです。



今のちからを「はかる」 assess

日々の支援に、問いかけと見直しを。

よりよい支援をより多くの女性たちに届けるためには、支援者同士が「共通の基盤を持つこと」そして「客観的に支援のちからを見つめること」が大切。東京YWCAは、そのための指標づくりに取り組んでいます。



よりよい支援のための指標

私たちが取り組んでいる指標では「援助過程における具体的な行動」「その行動の根幹にある支援の価値観」そして「それらの支援を支える組織基盤」の3つの側面を総合的に判断。現在の支援の質をはかり、さらなる改善につなげることをめざしています。

研究者との協働

指標の一環である「援助過程における具体的な行動」は、武蔵野大学大学院人間社会研究科小西聖子教授との共同研究「DV被害者支援者の教育プログラム作成の試み—モデルファイ法による支援ガイドラインの作成と検証—」に基づいて作成されました。

DV被害者支援「支援者エンパワメントプログラム」

暴力のない社会をめざして、DV被害者支援の質の向上に取り組む東京YWCA。私たちはDVに傷ついた女性たちのことをつねに見据え、支援の現場から聞こえる声に耳をかたむけ、支援者の皆さんをエンパワーしていきます。一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、よりよい支援を続けていただくために、今までも、これからも。

エキスパートに「まなぶ」 train

実践的な研修で、必要なスキルを。

被害女性と向き合ったとき真に活かせる、実践的な研修を実現。座学だけでなく体験型のワークも積極的に取り入れるなど、それぞれの研修内容については、経験豊富なトレーナーチームによって細かく検討されています。



オーダーメイド研修

まずはヒアリングシートによって、支援現場の課題やニーズを確認。支援ガイドラインを活用し、目的に合わせた最適な研修をご提案します。講師をつとめるトレーナーは全国どこへでも派遣しています。ご予算についてはご相談ください。

DVを経験した女性と協働する支援者トレーニング

アメリカ オハイオ州DV連合が支援者向けに開発し海外で実績をあげたプログラムを、開発者の1人でもあるオハイオ州ソーシャル・ワーカーの尾崎礼子さんが日本向けにアレンジしています。

- テキスト/「DV被害者支援ハンドブック〜サバイバーとともに〜」(尾崎礼子著、朱鷺書房)
- 日程/2日間 計14時間
- 参加費/15,000円 全時間修了者には修了証を発行します。
- ※その他勉強会も開催。詳細は東京YWCAのHPをご覧ください。

トレーナー

東京YWCAの研修や勉強会で講師をつとめるトレーナーは、社会福祉士やカウンセラーなど長年DV被害者支援に携わっているエキスパートたち。支援者の置かれている状況を深く理解し、支援者の立場や視線に立ったトレーニングやアドバイスを行っています。



オーダーメイド研修/事例

case 1 「相談者の立場に立った支援ができるようになりたい」

実施した研修 バリアモデルのワークを通して、DV被害者の気持ちや置かれている状況を支援者に実感いただきました。

参加者の声 今までよりも深く被害者を理解できるようになった。/ 日々出会う被害者のために、今日の研修を活かしていきたい。/ 知識だけでなく「感じる」「寄り添う」「尊重する」ことが、よりよい支援につながると思った。

case 2 「電話相談を始めるために、必要な準備を行いたい」

実施した研修 支援者の方々に電話相談のロールプレイを体験いただき、ガイドラインづくりに向けたサポートを行いました。

参加者の声 DV相談のイメージが具体的にになり、どのように運営していけばよいかを考える大きなステップになった。/ ロールプレイを体験して、対応に必要なコミュニケーションが学習できた。/ 仲間のロールプレイを観察することで今後の課題が明らかになった。

研修の実績

ウィメンズスペース花/ウィメンスタディズ熊野/ウィメンズネット青森/ウィメンズネット和歌山/神戸YWCA/こだいらDV防止ネットワーク/コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ/埼玉県男女共同参画課/埼玉県婦人相談センター/さいたま市男女共同参画推進センター/社会福祉法人東京援護協会/社会福祉法人東京蒼生会/東京都婦人相談研究会 (ほか多数)

調査研究の実績

●2010年度『DV被害母子への支援システム強化のための調査・モデル構築事業』(独立行政法人福祉医療機構助成事業) ●2011年度『DV被害者自立支援のシステム強化事業』(独立行政法人福祉医療機構助成事業) ●2011-2012年度『DV被害者の支援者のバーンアウト対策に対する有効なプログラムの開発・実施事業』(公益財団法人三菱財団助成事業)

オーダーメイド研修/ご相談の流れ

- 1 まずはお電話かメールにて東京YWCAまでご連絡ください。
メール: josei@tokyo.ywca.or.jp 電話: 03-3293-5434
- 2 ヒアリングシートにて課題や要望などを伺います。 ※ご予算についてはご相談ください
- 3 日程、内容、講師などを含む研修プランをご提案します。
- 4 研修依頼書をご提出いただきます。
- 5 研修実施